

NVivo 10 for Windows 機能リスト

2012年6月にリリースされた NVivo 10 for Windows では、ドキュメント、オーディオ、ビデオ、スプレッドシート、ソーシャルメディア、ウェブページのデータを簡単に整理、分析することができます。NVivo 10 for Windows をご使用いただくことで、資料、プロジェクトの種類を問わず、すばやく答えに到達し、発見を正当化し、情報に基づいた意思決定を行うことができます。

はじめに

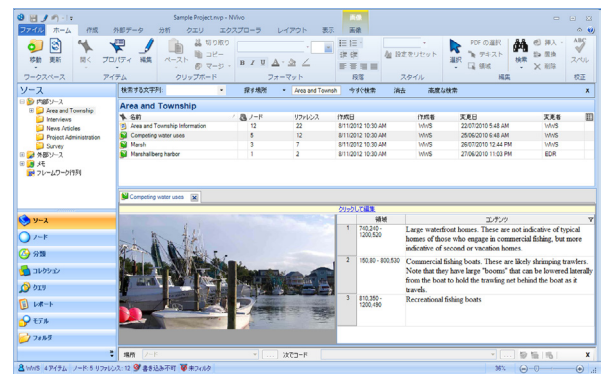
- NVivo 入門ガイドを使うことで、すぐに導入して使用を始められます。
- サンプルプロジェクトを使用して、NVivo でプロジェクトを設定する方法を確認できます。
- [ヘルプ] セクションでは、NVivo の使用方法を順を追ってご説明しています。
- コンテキストに応じたヘルプが備わっているので、必要なときに関連したヘルプを参照できます。ヘルプ情報は、実行しているタスクに応じて変化します。

NVivo のプロジェクト

- NVivo 9、NVivo 8、NVivo 7、NVivo 2、NVivo 1、N6 (NUD*IST 6)、N5、N4 などの QSR 旧バージョンで開発されたプロジェクトを開いて作業することができます。
- 事実上あらゆる言語（日本語や標準中国語などの漢字ベースの言語を含む）でデータを扱うことができます。NVivo では Unicode データを扱うことができます。
- ユーザーインターフェイスは、英語、中国語（簡体字）、フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語、スペイン語から選ぶことができます。
- 別のプロジェクトをマージしたり、既存のプロジェクトの構造を新しいプロジェクトに使用することができます。
- プロジェクトデータおよび資料を 1 つのファイルに保存して、プロジェクトを完全にポータル化できます。または、大容量のファイルを別に保存して、自分のプロジェクトにリンクさせることもできます。
- Atlas.ti 5.2、5.5、6.2、7、MAXQDA 2007、MAXQDA 10、FrameWork で作成したプロジェクトを変換して使用できます。

ユーザーフレンドリーなソフトウェアで快適に作業

- NVivo のワークスペースは、Microsoft ユーザーインターフェイスのガイドラインをベースにしているので、見慣れた画面で作業することができます。
- NVivo リボンを使用すると、迅速にコマンドを検索し、理解できるので、最低限のクリック回数でタスクを完了することができます。
- 中央のナビゲーションビューを使用して、すべてのプロジェクトアイテムを整理したり、アクセスすることができます。



- クエリやカスタマイズしたレポートの作成などの複雑なタスクでも、ウィザードで簡単に実行できます。
- ユーザーインターフェイスを使いやすいように配置し直すことができます。ドックまたはドック解除したウィンドウで作業できます。
- データを「ドラッグ&ドロップ」で簡単に移動できます。
- マルチレベルの「元に戻す」機能を使用して手順を後戻りできるので、安心してデータを調査できます。

各種データのインポート、作成、編集

- Microsoft Word (.doc および .docx)、Portable Document Format(.pdf)、リッチテキスト(.rtf) またはプレーンテキスト(.txt) フォーマットのドキュメントをインポートできます。
- .mp3、.mp4、.m4a、.wma、.wav フォーマットのオーディオファイルをインポートできます。
- Microsoft Excel スプレッドシート (.xls および .xlsx)、Access データベーステーブル、ODBC データベーステーブル、区切り付きテキストファイルをインポートできます。
- .mpg、.mpeg、.mpe、.wmv、.avi、.mov、.mp4、.qt、.3gp、.mts、.m2ts フォーマットのビデオファイルおよびメディアクリップをインポートできます。
- ウェブページおよびオンライン PDF を PDF ファイルとしてインポートできます。
- Facebook、LinkedIn、Twitter からソーシャルメディアデータをインポートできます。
- 調査の回答は SurveyMonkey から直接インポートできます。
- .bmp、.gif、.jpg、.jpeg、.png、.tif、.tiff フォーマットのデジタル写真およびピクチャーをインポートできます。
- ソフトウェア内で直接、独自のドキュメントを作成できます。

- 実行したコーディングを維持しながら、インポート後のドキュメントを編集することができます。
- NVivo で編集する際にスペルをチェックできます。
- NVivo では、オリジナルのドキュメントのスタイルが維持され、使用されます。これには、英語以外の言語で作成されたスタイルも含まれます。
- インタビューの回答など、ドキュメントやデータセット形式の構造化された情報を自動コーディングすることができます。
- ドラッグ&ドロップコーディングを使用して、あらゆる種類のソースコンテンツをすばやく簡単にコーディングします。
- パターンを基にした自動コーディングを使用して、大量のテキストをすばやくコーディングします。この実験的な機能は、今後のソフトウェアリリースでさらに開発される予定です。

容易なデータの整理と分類

- NVivo では、テーマまたはアイデアを保存するコンテナを「ノード」といいます。ノードは、人、場所、組織など、あらゆるものを示し、人口統計データや属性を割り当てることができます。
- ノードを「その場で」または「事前に」作成でき、容易に管理することができます。たとえば、ノードを別のフォルダーに移動したり、階層順に整理、配列し直したり、同様のノードをマージしたり、あるいはノードの名前を変更することができます。
- ノード、ソース、属性値に独自のカラーを割り当て、チャートやモデルなど、プロジェクト全体で確認することができます。
- 共通する特徴を持つグループソース（インタビュートランスクリプトなど）を「分類」でまとめると、整理および分析を支援しやすくなります。
- 性別や年齢などの人口統計情報は、テキストファイルまたはスプレッドシートとして簡単にインポートできます。
- プロジェクトのどこかに保存されているプロジェクトアイテムに対して、「集合」と呼ばれる「ショートカット」のコレクションを作成できます。
- さまざまな調査方法をサポートしています。たとえば、フレームワークマトリックスを使用してフレームワーク分析を実行できます。

コーディングにより情報の意味を理解

- NVivo では、テーマ、アイデア、トピックに関するすべての資料を、「コーディング」を通じてひとまとめにすることができます。
- マウスを使った「ドラッグ&ドロップ」、段落コーディング、「In Vivo」コーディングなどの手法を使用して、資料をコーディングすることができます。
- クイックコーディングバーを使用すると、新しいノードをすばやく作成して、最後に使用したノードでコーディングすることができます。
- コーディングストライプを使用すると、ドキュメント、ピクチャー、ビデオ、オーディオファイルのコーディングや人口統計情報を表示することができます。表示させるストライプを選択したり、最大 200 のストライプを表示させることができます。コーディングストライプは印刷することもできます。
- コーディングストライプに独自のカラーを割り当てることができます。
- 「コーディング密度バー」を使用して、特定のソースに対して実行されたコーディングの程度を確認できます。
- 「ハイライトコーディング」を使用して、特定のノードでコーディングされたコンテンツ、1 人または複数のユーザーによってコーディングされたコンテンツを確認できます。

メモやコメントによる自分の考えの記録

- 自分の意見を書き留めるメモを作成し、資料にリンクすることができます。日時のスタンプを容易に挿入できます。
- 選択したコンテンツに対して、コメントのための注釈を作成します。注釈とは、余白に走り書きしたメモのようなものです。簡単に変更したり追加することができます。

アイデア、テーマ、情報のリンク

- 「参照」リンクを使い、比較を表示したり、証拠を残すことができます。オーディオまたはビデオのタイムラインのセクションを含め、任意のコンテンツからリンクできます。
- 「メモリンク」を使用すると、関連する重要な考察や意見を記録できます。
- ハイパーリンクを使用すると、選択したリファレンスを NVivo プロジェクト外の他の情報やファイルにリンクすることができます。

ドキュメント、オーディオ、ビデオ、画像の処理

- PDF や Word ドキュメント内のテキスト、画像、テーブルを、直接選択して、処理することができます。
- データ内で、ハイパーリンクされたあらゆるコンテンツに容易にアクセスすることができます。
- PDF 内で、マップやグラフィックなどの画像領域をコーディングできます。
- NVivo 内でオーディオやビデオを再生し、分析することができます。再生速度を変えたり、特定のセクションを繰り返し再生したり、また数秒間の早戻しやスキップが可能です。
- トランスクリプトが一切用意されていなくても、メディアファイルから直接操作できます。
- NVivo では、オーディオファイルやビデオファイル全体、またはファイルの一部を対象にしてトランスクリプトを作成できます。単に、キーワードを作成することもできます。
- 既存のトランスクリプトを関連するオーディオファイルやビデオファイルにインポートしたり、リンクさせることができます。
- オーディオファイルやビデオファイルの再生とトランスクリプトを同期してスクロールできます。
- トランスクリプトの特定の行をクリックすると、ビデオまたはオーディオの関連する部分を開くことができます。

- トランスクリプト内のコードコンテンツおよびシャドーコーディングストライプによって、メディア内でコーディングされている場所がわかります。
- 航空写真や「Google Earth」の地図などの地理空間データを使用できます。
- NVivo では、画像全体または一部に関する独自の「ログ」や説明を作成できます。

スプレッドシートとデータベースの使用

- スプレッドシートとデータベースの表示および使用方法を選択できます。「テーブルビュー」を選択すると、元のフォーマットでデータが表示されます。一度に 1 つの調査の回答を表示する場合などは「フォームビュー」を選択します。
- 大きなデータセットを処理する場合は特に、データを自動コーディングすることで分析をスピードアップできます。
- 各回答者の回答を、個人（行）を表す単一のノードに自動的にまとめることができます。または、質問ごとに回答者全員の回答を、質問（列）を表すノードにまとめることができます。
- 人口統計データに基づいて回答を自動的にグループ化できます。

文献レビューおよび書誌の利用

- EndNote、Mendeley、RefWorks、Zotero などの参照管理ソフトウェアから書誌データをインポートできます。
- 学術論文のタイトルや著者、独自のメモなどの情報を直接インポートして、利用することができます。添付ファイルとして論文を保存した場合は、NVivo プロジェクトにも追加されます。

オンラインデータのキャプチャーと分析

- Internet Explorer 7 以降および Google Chrome 21 以降のウェブブラウザ拡張機能である NCapture をオプションでインストールできます。NCapture を使用すると、ウェブページ、オンライン PDF、ソーシャルメディアデータ、YouTube ビデオを収集し、そのコンテンツを NVivo にインポートすることができます。
- NVivo で使用するウェブページ（ウェブページ全体または主要論文のみ）およびオンライン PDF をインポートできます。
- 個人、組織、グループから Facebook ウォールへのポストやコメントをインポートすることができます。
- Twitter からツイートを入力できます。たとえば、特定の語句やハッシュタグが含まれるツイート、特定のユーザーのツイートなどをインポートできます。
- LinkedIn グループディスカッションをインポートできます。
- YouTube コンテンツをインポートできます。NCapture を使用すると、YouTube ビデオを収集して、NVivo で使用できるようになります。また、コメントをデータセットとしてインポートすることもできます。
- NVivo の自動コーディング機能により、ソーシャルメディアデータをすばやくグループ分けできます。たとえば、Facebook のウォールへのポストを会話別に、ツイートをハッシュタグ別にグループ分けできます。
- NVivo の自動視覚化機能を Facebook、Twitter、LinkedIn データセットで使用すると、データのパターン確認に役立ちます。たとえば、[マップ] タブを使用してデータを空間的に視覚化したり、Twitter データセットで [チャート] タブを使用して、フォローしている人の数でユーザーを比較することができます。

- 調査の回答は SurveyMonkey から直接インポートできます。

Evernote または OneNote からのノートのインポート

- Evernote を使用してノートをとったり、画像を収集したり、ウェブページをクリップしている場合は、ノートプロジェクトにインポートして、NVivo で使用することができます。
- Evernote を使って、外出先でもモバイルデバイス上でデータを収集し整理できます。デスクに戻ってから、(NVivo から) Evernote アカウントに接続して資料をインポートします。
- データをインポートするときに都度ログインする必要がなくなり、接続中の Evernote アカウントを NVivo 内で切り替えることができます。
- OneNote を使用してノートや画像を収集したり、アイデアを記録している場合は、これらのページを OneNote からエクスポートして、NVivo プロジェクトにインポートすることができます。NVivo では、データ構造が維持されるので、すぐに作業を開始できます。

トランスクリプションサービス

- 迅速かつ簡単に、低コストでビデオやオーディオコンテンツを転写して分析する方法をご用意しました。TranscribeMe 社と提携し、NVivo からシームレスにトランスクリプトをオーダーできるようにし、結果を自動的にダウンロードして、プロジェクト内のメディアファイルと同期させる機能を提供しています。
- 音声および動画のトランスクリプトコンテンツ（英語、中国語、フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語、スペイン語）を NVivo で購入できるようになりました。

スマートな検索ツールの使用

- 「高度な検索」機能を使用すると、プロパティなどの条件に基づいてプロジェクトアイテムを検索できます。複数の条件の値を指定できます。
- アイテムの「検索」に使用した条件を「検索フォルダ」に保存できるので、同じ検索を再度実行する必要がある場合に非常に便利です。検索フォルダは動的です。つまり、プロジェクトの変更に合わせて更新されます。

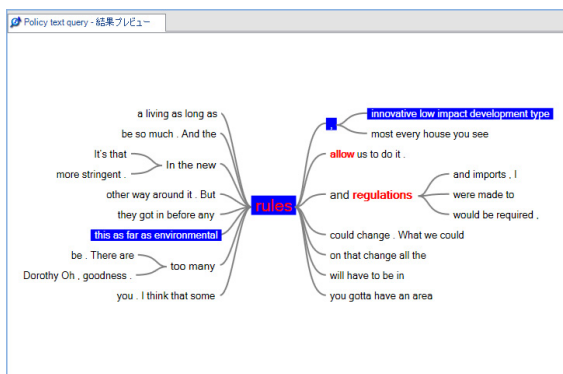
クエリツールを使用したデータの照会

- 「クエリ」を使用すると、データの探索、理論のテスト、新しい事実の発見が可能になります。新しいデータでクエリを再実行することで、結果の変化を追跡できます。
- 「テキスト検索」クエリを使用すると、正確に一致する単語や、類似の意味を持つ単語を検索できます。
- 「頻出語」クエリを使用すると、資料内で頻出度が最も高い語のリストを表示できます。単語をダブルクリックすることで、その単語を本文内で確認できます。
- コーディングクエリを使用すると、コーディングについて探索したり問い合わせることができます。これにより、コーディングの重複や交差を確認できます。
- 行列コーディングクエリを使用すると、ノード、集合、または属性値全体で、コーディングされた資料を比較することができます。

- 複合クエリを使用すると、複数の条件に基づいて検索できます。
- グループクエリを使用すると、プロジェクトアイテム間の特定の種類の関連項目が表示されます。

データのパターンとコネクションの視覚化

- モデルを作成して、新しいアイデア、コネクション、発見を示すことができます。リアルタイムにプロジェクトを表示するには動的モデルを使用し、特定の時点でのプロジェクトの状態を示すには静的モデルを使用します。
- モデル内でプロジェクトアイテムをクリックすると、NVivo プロジェクトの基本データを表示できます。
- グラフを使用すると、テーマ、アイデア、人、その他のあらゆるアイテムに関連するプロジェクトアイテムをすべて表示できます。独自のアイデアを追加するには、このグラフをモデルに変換して作業を続けます。
- ワード・クラウド、ツリーマップ、ワードツリーを使用すると、選択した資料（ソース）やノードでの使用頻度が最も高い単語を表示できます。また、簡単な操作で、その単語の前後関係のコンテキストを確認できます。



- NVivo では、縦棒グラフ、円グラフ、横棒グラフなどの「チャート」を作成して、探索することができます。ワンクリックで、チャートの元となる実際のデータを表示できます。
- クラスタ分析を使用して、ソースやノードの類似点や相違点を視覚的に表示できます。
- 「コネクションマップ」を使用してアイテム間の双方向のつながりを調べたり、視覚的に表示したりすると、パターンの特定に役立ちます。

データの交換と共有

- 定義済みのレポートを使用するか、ウィザードに従って独自のレポートを作成することができます。レポート基準が保存されるので、同じプロジェクト内で再利用したり、他のユーザーと共有することができます。
- フィールドを追加または削除したり、データの順番を変えたりして、レポートおよび抽出データを変更できます。ユーザー独自の配色やスタイルもレポートには適用できます。

- プロジェクトサマリ、ソースサマリ、ノードサマリ、コーディングレポートなど、さまざまな組み込みレポートを作成できます
- 「抽出」機能で、抽出して使用するデータを正確に選択し、XML 形式のデータをテキストまたはスプレッドシートとしてエクスポートできます。
- Microsoft Excel、Microsoft Access、IBM SPSS Statistics、SAS/STAT などのアプリケーションから、区切り付きテキストファイル、スプレッドシート、データベーステーブルをインポートもしくはエクスポートすることができます。
- EndNote、Mendeley、RefWorks、Zotero などの参照管理ソフトウェアとの間でデータをインポートおよびエクスポートできます。
- プロジェクトファイルおよび発見を HTML ウェブページとして共有できます。ノードで収集した情報を共有したり、オーディオファイル、ビデオ、ドキュメントのセクションなど、特定のプロジェクトアイテムをエクスポートすることができます。
- チャート、モデル、表示を画像としてエクスポートし、プレゼンテーションやドキュメントで使用することができます。
- データを Excel にエクスポートして、さらに細かく分析できます。
- チャートなどの図は PDF 形式にエクスポートできます。

パフォーマンス、耐障害性、スケーラビリティの強化

- データの保存とアクセス方法が最適化されたので、コーディング、自動コーディング、ノードの作成とオープン、クエリの実行、プロジェクトアイテムの削除などのタスクをさらに迅速に実行できるようになりました。
- 大量のデータを処理する際のパフォーマンスが向上しました。たとえば、大量のソースやノードをサイズに関係なくスピーディーに開くことができます。プロジェクトサイズが大きくなっても、クエリを迅速に実行できます。
- NVivo 10 for Windows は、プロジェクトデータを自動的にバックアップし、修復する機能を搭載しています。
- 独立プロジェクトの最大プロジェクトサイズが、10 GB に拡張されました（以前は 4 GB）。

効果的なチーム連携作業

- イベントログを使用すると、プロジェクトへの変更を記録して、チームメンバーの作業内容を追跡することができます。
- 異なるプロジェクトを 1 つにマージした後でも、各チームメンバーによって作成された特定のコーディング、注釈、リンクを表示できます。
- プロジェクトアイテムを最初に作成したチームメンバー、最後に修正したチームメンバーを確認できます。

- あるチームメンバーによってノードにコーディングされたコンテンツを確認することも、ビューを拡張して複数のチームメンバーについて確認することもできます。
- コーディングストライプを使用すると、さまざまなユーザーが実行したすべてのコーディングを表示して比較することができます。
- チームメンバーが実行した作業内容に対して「クエリ」を実行できます。たとえば、あるチームメンバーが作成したすべてのコーディングにクエリを実行できます。次に、結果の 1 つをクリックすると、オリジナルのソース資料が開き、そのチームメンバーのコーディングストライプを確認できます。
- 「コーディング比較」クエリを使用すると、たとえば、チームメンバー間のコーディングの一致と不一致の割合を表示できます。または、クエリを使用して、「カッパ係数」と呼ばれる、コーディングの信頼度数の測定を得ることができます。

NVivo を **NVivo Server** と組み合わせて使用すると、次が可能になります。

- チームメンバーが 1 つのプロジェクトで同時に作業し、互いの変更をすぐに確認できます。
- すべてのプロジェクトを 1 つのセキュアな場所で保存、保守することによって、スムーズなプロジェクト管理が実現します。

- より多くのデータを処理して、多くの音声および動画リソースをプロジェクトに埋め込むことができます。
- 認証された Windows 資格情報およびロールベースのアクセス許可を使用してプロジェクトへのアクセス権を保護することで、セキュリティを強化します。
- NVivo Server の詳細については、www.qsrinternational.com にアクセスしてください。

NVivo に関するその他の情報

- 「**Introducing NVivo (NVivo の概要)**」ビデオをご覧ください。
- NVivo の動作を確認するには、**次回の eDemo** にご参加ください。
- NVivo をお試しください。30 日間無料トライアルをダウンロードできます。
- **チュートリアル**をご覧くださいと、NVivo 機能の使用方法を学習できます。
- **QSR eSeminar ビデオ**をご覧ください。他のユーザーがプロジェクトでどのように NVivo を使用して調査を行っているのかを紹介しています。